

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月7日

上場会社名 大同信号株式会社
 コード番号 6743 URL <http://www.daido-signal.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 星屋 益男
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 寺田 栄造
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

上場取引所 東

TEL 03-3754-1122

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	6,985	—	165	—	170	—	83	—
20年3月期第2四半期	6,842	△13.2	266	△56.8	263	△51.4	105	△65.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	4.65	—
20年3月期第2四半期	5.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
21年3月期第2四半期	19,231	515.57	9,212	515.57	47.9	515.57
20年3月期	19,807	515.87	9,222	515.87	46.6	515.87

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 9,212百万円 20年3月期 9,222百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	7.00	7.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	6.7	800	0.5	840	1.9	450	4.2	25.16

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社(社名) 除外 一社(社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 18,018,000株 20年3月期 18,018,000株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 149,906株 20年3月期 139,680株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 17,873,965株 20年3月期第2四半期 17,884,869株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により、上記の予想数値と異なる場合があります。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、資源価格の高騰と米国サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安の影響などにより、個人消費や設備投資が伸び悩み、景気は減速基調が強まる状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは受注の獲得と拡大に取り組んでまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、69億85百万円と前年同期比1億42百万円(2.1%)の増収となりました。

利益につきましては、売上原価率の上昇により、営業利益は1億65百万円(前年同期比37.8%減)、経常利益は1億70百万円(前年同期比35.1%減)、四半期純利益は83百万円(前年同期比21.0%減)となりました。

(事業の種類別セグメントの状況)

[鉄道信号関連事業]

工事は減少しましたが、踏切障害物検知装置、軌道回路機器、踏切装置機器などのベース製品の増加により売上高は62億34百万円と前年同期比1億14百万円(1.9%)の増加となりました。

[産業用機器関連事業]

可塑成形、金属メッキは減少しましたが、情報通信機器、梯子車・化学車制御装置、金型が増加し、売上高は7億50百万円と前年同期比27百万円(3.8%)の増加となりました。

なお、前年同期比は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ5億76百万円減少し、192億31百万円となりました。これは、たな卸資産(製品・原材料・仕掛品)が10億86百万円、投資有価証券が57百万円それぞれ増加しましたが、現金及び預金が10億97百万円、受取手形及び売掛金が5億42百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ5億65百万円減少し、100億18百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が85百万円増加しましたが、未払法人税等が3億5百万円、その他流動負債が3億22百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ10百万円減少し、92億12百万円となりました。これは、利益剰余金が41百万円減少しましたが、その他有価証券評価差額金が33百万円増加したことなどによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間は前年同期と比較して、営業利益、経常利益、四半期純利益とも下回っておりますが、概ね当初予想通り推移しており、平成20年5月20日発表の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、仕掛品については個別法による原価法、製品及び原材料については移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、仕掛品については個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）、製品及び原材料については移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

この変更により、売上総利益、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益が35,085千円それぞれ減少しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

	(単位：千円)	
	当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	1,981,074	3,078,920
受取手形及び売掛金	4,345,778	4,888,126
製品	2,851,474	2,638,979
原材料	540,179	541,084
仕掛品	3,908,193	3,033,770
その他	352,632	399,792
貸倒引当金	△3,506	△4,870
流動資産合計	13,975,826	14,575,803
固定資産		
有形固定資産	1,909,040	1,914,710
無形固定資産	51,130	50,771
投資その他の資産		
投資有価証券	2,954,232	2,896,869
その他	341,043	369,577
投資その他の資産合計	3,295,276	3,266,447
固定資産合計	5,255,447	5,231,929
資産合計	19,231,273	19,807,732

	(単位：千円)	
	当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
(負債の部)		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,495,410	3,410,093
短期借入金	3,552,836	3,126,030
未払法人税等	47,863	353,033
役員賞与引当金	15,550	36,110
その他	1,122,205	1,445,170
流動負債合計	8,233,865	8,370,437
固定負債		
長期借入金	99,458	516,627
退職給付引当金	1,545,840	1,524,900
役員退職慰労引当金	139,818	172,874
固定負債合計	1,785,117	2,214,402
負債合計	10,018,982	10,584,840
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	1,500,039	1,500,039
資本剰余金	1,233,716	1,233,716
利益剰余金	5,771,241	5,812,823
自己株式	△41,804	△39,070
株主資本合計	8,463,193	8,507,509
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	749,096	715,382
評価・換算差額等合計	749,096	715,382
純資産合計	9,212,290	9,222,892
負債純資産合計	19,231,273	19,807,732

(2) 四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

	(単位:千円)
	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	6,985,037
売上原価	5,419,389
売上総利益	1,565,648
販売費及び一般管理費	1,399,771
営業利益	165,876
営業外収益	
受取配当金	32,590
その他	7,642
営業外収益合計	40,232
営業外費用	
支払利息	35,185
その他	18
営業外費用合計	35,204
経常利益	170,905
特別利益	
貸倒引当金戻入額	1,125
償却債権取立益	300
特別利益合計	1,425
税金等調整前四半期純利益	172,330
法人税、住民税及び事業税	44,840
法人税等調整額	44,288
法人税等合計	89,128
四半期純利益	83,201

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間	
(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	172,330
減価償却費	148,946
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,364
受取利息及び受取配当金	△33,577
支払利息	35,185
売上債権の増減額(△は増加)	542,348
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,086,013
仕入債務の増減額(△は減少)	85,317
退職給付引当金の増減額(△は減少)	20,939
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△33,055
未払消費税等の増減額(△は減少)	△23,017
未払費用の増減額(△は減少)	△169,009
その他の流動資産の増減額(△は増加)	5,750
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△100,895
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,560
その他	△579
小計	△457,255
利息及び配当金の受取額	33,577
利息の支払額	△35,185
法人税等の支払額	△342,442
営業活動によるキャッシュ・フロー	△801,305
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△38,000
定期預金の払戻による収入	14,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△178,483
投資有価証券の取得による支出	△605
貸付金の回収による収入	1,160
その他	△548
投資活動によるキャッシュ・フロー	△202,477
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入による収入	10,000
短期借入金返済による支出	△13,000
長期借入による収入	100,000
長期借入金の返済による支出	△87,364
自己株式の取得による支出	△2,733
配当金の支払額	△124,965
財務活動によるキャッシュ・フロー	△118,063
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,121,846
現金及び現金同等物の期首残高	3,027,920
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,906,074

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

該当事項はありません。

「参考資料」

前中間連結損益計算書

(単位：千円)

区分	当中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)		
	金額 (千円)	百分比 (%)	
I 売上高	6,842,794	100.0	
II 売上原価	5,179,954	75.7	
売上総利益	1,662,839	24.3	
III 販売費及び一般管理費	1,396,140	20.4	
営業利益	266,699	3.9	
IV 営業外収益	34,922	0.5	
V 営業外費用	38,443	0.6	
経常利益	263,177	3.8	
VI 特別利益			
貸倒引当金戻入額	1,491	1,491	0.1
VII 特別損失			
固定資産除却損	474	474	0.0
税金等調整前中間純利益		264,194	3.9
法人税、住民税及び事業税	89,506		
法人税等調整額	69,425		
法人税等合計		158,932	2.3
中間純利益		105,262	1.5